



株式会社ミマキエンジニアリング

2026 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会

2025 年 11 月 19 日

イベント概要

[企業名]	株式会社ミマキエンジニアリング		
[企業 ID]	6638		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2026 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会		
[決算期]	2026 年度 半期		
[日程]	2025 年 11 月 19 日		
[ページ数]	34		
[時間]	11:00 - 11:49 (合計：49 分、登壇：34 分、質疑応答：15 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]	130 m ²		
[出席人数]	30 名		
[登壇者]	2 名		
	代表取締役社長 CEO	池田 和明（以下、池田）	
	常務取締役 CFO	清水 浩司（以下、清水）	

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

登壇

司会：ただ今より、株式会社ミマキエンジニアリング、2026年3月期、第2四半期決算説明会を開催いたします。

それでは、本日のご出席者を紹介いたします。代表取締役社長 CEO、池田和明でございます。常務取締役 CFO、清水浩司でございます。

それでは、早速始めたいと存じます。清水常務、よろしくお願いいたします。

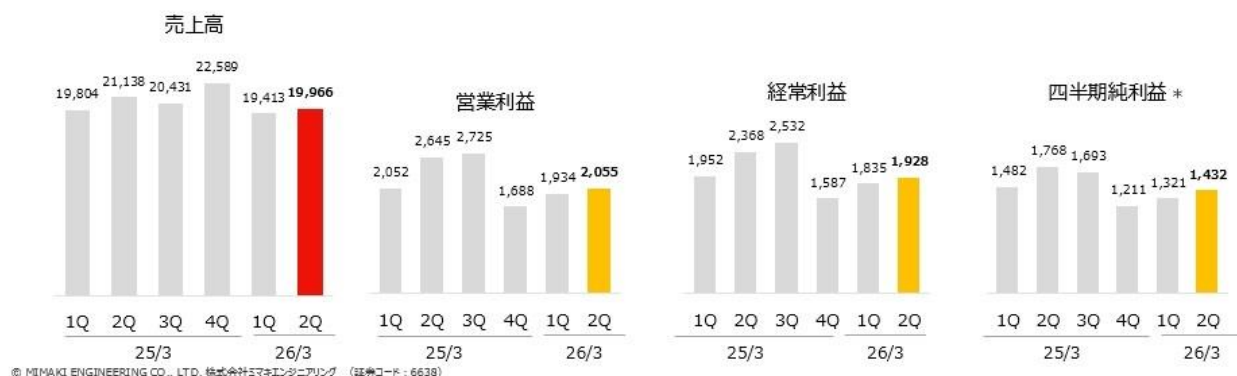
清水：皆様、いつも大変お世話になっております。改めまして、株式会社ミマキエンジニアリングの清水でございます。オンラインで参加の皆様も含め、本日はお忙しい中、私どもの決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

司会の方からご案内ありましたとおり、前半のパートは私より、26年3月期、第2四半期の実績、それから26年3月期、通期の業績予想の順でご説明申し上げます。

連結業績ハイライト① (2026年3月期 2Q実績)



*親会社株主に帰属する四半期純利益



それでは早速ですが、26年3月期、2クォーター上期の実績のご説明から入らせていただきます。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



まず2ページ、連結業績ハイライト、2クォーター、3カ月のサマリーでございます。この2クォーターでございますが、前のクォーター、1クォーターと比較しますと増収増益ではございますが、前年同期比では減収減益という着地でございます。業績の詳細につきましては次のスライドで説明申し上げます。

連結業績ハイライト② (2026年3月期 2Q実績)



(単位: 百万円)	2025年3月期		2026年3月期(7-9月)		前年同期比増減		
	2Q実績	売上高比率	2Q実績	売上高比率	金額	率	率(除為替)
売上高	21,138	—	19,966	—	-1,172	-5.5%	-5.9%
営業利益	2,645	12.5%	2,055	10.3%	-589	-22.3%	-24.5%
経常利益	2,368	11.2%	1,928	9.7%	-440	-18.6%	—
四半期純利益*	1,768	8.4%	1,432	7.2%	-336	-19.0%	—
為替レート	米ドル 149.36円	—	147.48円	—	-1.88円	-1.3%	—
(期中平均)	ユーロ 163.98円	—	172.31円	—	+8.33円	+5.1%	—

*親会社株主に帰属する四半期純利益

- 売上高は、前年同期比 1,172百万円の減収 (-5.5%、内為替影響 +75百万円)、予想比下振れ。為替影響を除くと5.9%減。製品市場別は、SGはエコソルベントモデルやUV-DTFが堅調に推移。IPは新製品の端境期にあたり主に小型FB (フラットベッド)モデルが減少。TAはDTFモデルの販売が競争激化により減収、FAは大幅な減少。
- 営業利益は、売上高の減少に伴い前年同期比 589百万円の減益 (-22.3%、内為替影響 +57百万円)も営業利益率は10.3%を確保。売上原価率は、原価低減活動の継続により0.9pt改善。販管費は、研究開発費と人件費が前年同期比で増加するも、その他の費用は売上に応じた費用執行に努め期初計画比では抑制。

*DTF: Direct To Film

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード: 6638)

3ページ、業績ハイライト、2クォーター、3カ月のPLサマリーでございます。まず売上高でございますが、前年同期比 5.5%減の 199 億 6,600 万円でございます。為替の影響は軽微でございました。また計画比では下振れという着地でございます。

市場別に見ますと、SG 市場向けでは、昨年市場投入をいたしましたエコソルベントプリンタ、それから今期の新製品でございます UV-DTF のプリンタ、こちらは堅調に推移しまして、またインクも順調に推移し、SG 全体としては増収でございます。

一方 IP 市場向けでございますが、インクは順調でございましたが、本体、特に小型のフラットベッドモデル、私どもの製品で言いますと UJF という冠が付いているシリーズでございますが、比較的小型のテーブルの UV インクプリンタでございまして、スマホケースですとかアクリルキーホルダーなんかによく使われておりますけども。こちらの製品、途中でマイナーチェンジは入れているのですが、最初に投入してからかなり時間が経過して、ちょうど今期、新製品の端境期で、ここで台数を大きく落としたというところでございます。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



TA 市場向けでは、こちらもサブリメーションのプリンタ、またインクは順調に伸ばしておりますが、T シャツ向けの DTF プリンタ、こちらがこの春にライバルが類似の製品を出してまいりまして、そこで台数を大きく落としました。ただ、他のサブリメーションプリンタ、インクでカバーをしまして、おおむね前年並みでございます。

営業利益でございますが、前年同期比 22.3%減の 20 億 5,500 万円でございます。売上が落ちたというところで減益ではございますが、引き続き営業利益率 10%台はキープしたというところでございます。原価率ですけれども、新製品を中心といたしましたプロダクトミックスの改善によりまして、0.9 ポイントの改善でございます。また販管費は、中長期成長戦略 Mimaki Innovation 30 でご説明申し上げた方針に沿って、将来への投資、研究開発費が増加、また人件費も増加をいたしましたが、それ以外の費用については売上高の伸長に応じて執行するというところで、計画比では抑制できたというところでございます。

連結業績ハイライト③ (2026年3月期 上期実績)



続いて 4 ページ、こちらは上期 6 カ月のサマリーでございます。業績の詳細につきましては、次のスライドでご説明申し上げます。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



2025年3月期			2026年3月期						
(単位: 百万円)	上期実績	売上高比率	上期実績	売上高比率	前年同期比増減			前回予想	前回予想比増減額
					金額	率	率(除為替)		
売上高	40,942	—	39,379	—	-1,563	-3.8%	-1.8%	41,400	-2,020
営業利益	4,698	11.5%	3,990	10.1%	-708	-15.1%	-7.3%	4,050	-59
経常利益	4,321	10.6%	3,764	9.6%	-556	-12.9%	—	3,600	+164
中間純利益*	3,250	7.9%	2,753	7.0%	-497	-15.3%	—	2,600	+153
為替レート	米ドル 152.62円	—	146.04円	—	-6.58円	-4.3%	—	135.00円	+11.04円
(期中平均)	ユーロ 165.93円	—	168.06円	—	+2.13円	+1.3%	—	152.00円	+16.06円

*親会社株主に帰属する中間純利益

- 売上高は、前年同期比 1,563百万円の減収（-3.8%、内為替影響 -820百万円）予想比下振れ。為替影響を除くと1.8%の減収。製品市場別は、SGの高画質のエコソルベントプリンタが牽引、北米・欧州中心にUV-DTFモデルの引き合い順調もUVインク搭載モデルは低調。IPはインクが大幅に伸長、本体はミドルサイズFBが牽引も新製品の端境期にある小型FBの販売低調。TAはフラッグシップモデルのハイブリッドプリンタやダイレクト捺染プリンタ堅調も競争激化のDTFモデルが減少。インクの販売は全市場で増収。FAは大幅減収
- 営業利益は、前年同期比 708百万円の減益（-15.1%、内為替影響 -363百万円）も営業利益率は10.1%を確保。原価低減活動の定着で、売上原価率は2.3pt改善（為替影響を含む）。販管費は、成長投資のための研究開発費・人件費は計画どおりの実行で増加も、その他費用は売上高に応じた執行に努め、前年同期比では増加するも期初計画比からは抑制
- 2Q末バランスシート…重点指標CCC*は、在庫増加が要因となり2025年3月末より高水準
(2025.3末: 4.28月 →25.6末: 4.96月→25.9末: 4.85月)

*CCC : Cash Conversion Cycle

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード: 6638)

5

上期 6 カ月の PL サマリーでございます。まず売上高は、前年同期比 3.8%減の 393 億 7,900 万円でございます。特に 1 クォーター、前年同期と比べまして、US ドルがかなり円高の方向に動いているというところで、為替の影響がマイナス側で 2 ポイントぐらいございますので、為替の影響を除いた実力値ベースでは 1.8%の減でございます。

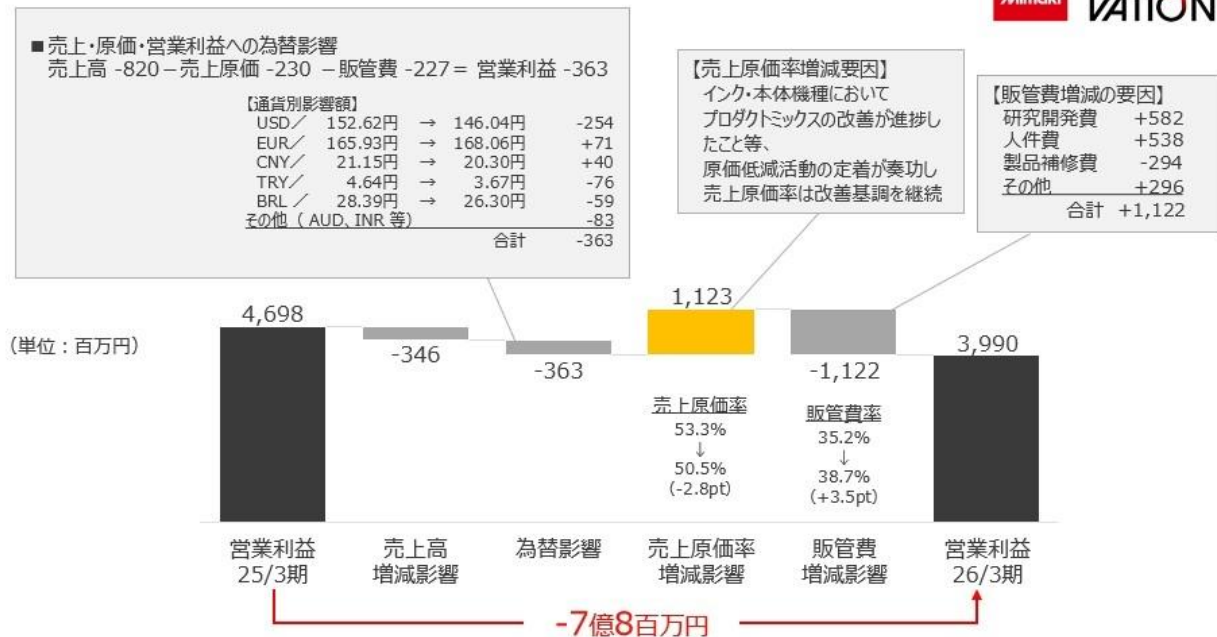
市場別につきましては、おおむね 2 クォーターと同様でございますが、SG 市場向けにつきましてはエコソルベントプリンタ、また UV-DTF のプリンタ、こちらがけん引したというところがございます。IP 市場向けについては、インクは大幅に伸ばしておりますが、先ほどの小型のフラットベッドプリンタ、ここが苦戦したというところがございます。TA 市場向けについては、DTF のプリンタ、こちらが大きく落としましたというところがございます。

営業利益は、前年同期比 15.1%減の 39 億 9,000 万円。経常利益は 12.9%減の 37 億 6,400 万円。中間純利益が 15.3%減の 27 億 5,300 万円で、減益での着地でございます。ただし、営業利益率は 10%をキープできたというところがございます。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

営業利益増減要因 (25/3期 上期 vs 26/3期 上期)



6

続きまして、上期営業利益 39 億 9,000 万円ということで、7 億 800 万円前年同期比で減益の要因をご説明いたします。

おおむね半々でございまして、売上の減少に伴う粗利減が半分、あとは為替、特に US ドルのところの円高影響が半分でございまして。販管費につきましては、先ほどのご説明のとおり、将来に向けた成長投資、研究開発費、それから人件費のところが増えたというところがございますが、機種ミックスの改善によりまして、原価率の改善で費用増をカバーしたというところがございます。

サポート

日本 050-5212-7790
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



市場別売上高（2026年3月期 2Q実績）



		2025年3月期		2026年3月期(7-9月)				
		2Q実績	構成比率	2Q実績	前年同期比増減			構成比率
(単位：百万円)					金額	率	率(除為替)	
SG市場向け		8,058	38.1%	8,314	+255	+3.2%	+2.7%	41.6%
IP市場向け		5,604	26.5%	4,967	-637	-11.4%	-11.8%	24.9%
TA市場向け		2,468	11.7%	2,410	-58	-2.4%	-2.6%	12.1%
FA事業		1,551	7.3%	905	-646	-41.7%	-41.6%	4.5%
その他		3,454	16.3%	3,369	-85	-2.5%	-	16.9%
合 計		21,138	100.0%	19,966	-1,172	-5.5%	-5.9%	100.0%

- SG市場向け : インクの販売が大幅に増加。プリンタ本体は、UVインク搭載の既存モデルは伸び悩むも、新製品のエコソルベントモデルが牽引、UV-DTFモデルが順調な立ち上がりにより、全体では増収
- IP市場向け : インク販売は、増加基調が継続し大幅増も、プリンタ本体は新製品の端境期にあたり主に小型FBモデルが大幅減、全体では大幅減収
- TA市場向け : プリンタ本体は、高速昇華転写プリンタのTiger600やハイブリッドモデルが順調な立ち上がりも、DTFモデルが競争激化に伴い大幅減。インクの販売は、累計稼働台数の増加により飛躍的に伸長。全体では減収
- FA事業 : 基板検査装置が大幅増。半導体製造装置が好調に推移も、FA装置や基板実装装置の減少により大幅減収

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード：6638)

* SG: Sign Graphics, IP: Industrial Products, TA: Textile & Apparel, FA: Factory Automation 7

7 ページ、市場別の売上高、2 クォーター3 カ月の数値でございます。まず SG 市場向けの売上高でございますが、前年同期比 3.2% 増の 83 億 1,400 万円となりました。インクは順調に増加し、先ほどのとおり、昨年の新製品、エコソルベントプリンタ、それから UV-DTF のプリンタ、こちらが順調に推移して、全体で増収でございます。

IP 市場向けの売上高は、11.4% 減の 49 億 6,700 万円となりました。新製品の端境期にあった小型のフラットベッドプリンタ、ここが苦戦しているところでございますが、インクは順調に伸びております。

続いて TA 市場向けの売上高は、前年同期比 2.4% 減の 24 億 1,000 万円となりました。DTF プリンタの大幅減が大きなところでございますが、それ以外の昇華転写プリンタ、Tiger600 ですとかインクは、市場の累積稼働台数増えておりますので、順調に伸ばしているところで、全体としてはおむね前年並みでございます。

FA 事業の売上高は、前年同期比 41.7% 減の 9 億 500 万円となりました。FA 装置、それから基板実装装置が減少しております。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



市場別売上高（2026年3月期 上期実績）



(単位：百万円)	2025年3月期		上期実績	2026年3月期				前回予想	前回予想比増減額
	上期実績	構成比率		金額	前年同期比増減率	率(除為替)	構成比率		
SG市場向け	16,278	39.8%	16,521	+243	+1.5%	+3.9%	42.0%	16,211	+310
IP市場向け	10,600	25.9%	9,777	-823	-7.8%	-6.0%	24.8%	11,458	-1,681
TA市場向け	5,329	13.0%	4,548	-780	-14.7%	-12.5%	11.6%	5,610	-1,062
FA事業	2,143	5.2%	1,933	-210	-9.8%	-9.3%	4.9%	2,007	-73
その他	6,590	16.1%	6,598	+7	+0.1%	-	16.8%	6,112	+486
合 計	40,942	100.0%	39,379	-1,563	-3.8%	-1.8%	100.0%	41,400	-2,020



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード：6638)

8

8 ページ、上期 6 カ月の市場別売上高でございます。傾向としては 2 クォーターと同様でございますので、詳細は割愛させていただきます。

エリア別売上高（2026年3月期 2Q実績）



		2025年3月期		2026年3月期(7-9月)				
(単位：百万円)		2Q実績	構成比率	2Q実績	前年同期比増減		構成比率	
					金額	率		
日本		6,345	30.0%	5,185	-1,159	-18.3%	26.0%	
北米		4,245	20.1%	4,589	+344	+8.1%	23.0%	
	(現地通貨/\$)	28.5M	—	31.1M	+2.5M	+9.1%	—	
欧州		4,519	21.4%	4,266	-252	-5.6%	21.4%	
	(現地通貨/€)	27.5M	—	24.7M	-2.8M	-10.3%	—	
アジア・オセアニア		3,753	17.8%	3,793	+39	+1.1%	19.0%	
その他		2,274	10.8%	2,130	-144	-6.3%	10.7%	
合 計		21,138	100.0%	19,966	-1,172	-5.5%	100.0%	

- 日本： FA事業のFA・基板実装装置が大幅減となり全体では大幅な減収。FA事業を除くSG・IP・TA合計の前年同期比は-5.4%の減
- 北米： TAはインクの販売が稼働台数増加に伴い飛躍的に伸長。本体も高速昇華転写モデル等の好調により大幅増。SGは新製品のエコソルベントモデルやUV-DTFモデルの新製品順調等により本体販売は大きく伸長しインクも大幅増。IPはインクが大幅に伸長し、大型FB好調により増加。全体では8.1%の増収
- 欧州： SGは新製品の立ち上がり順調により増収。TAはインク大幅増もDTFモデル減少により微減。IPはインクは好調に推移するも本体が大型・小型ともに大幅減。全体では減収
- A・O： SGは新製品のエコソルベントモデルが牽引し増収。IP・TAは本体・インクともに大幅減。全体では増収

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード：6638)

9

9 ページ、2 クォーター3 カ月のエリア別の売上高でございます。まず日本の売上高は、前年同期比 18.3%減の 51 億 8,500 万円となりました。エリア別に見ますと、日本の減収幅が一番大きく見えるのですが、FA の影響が大きく、FA を除いた本業のところ、プリンタ事業のところでは 5.4%

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



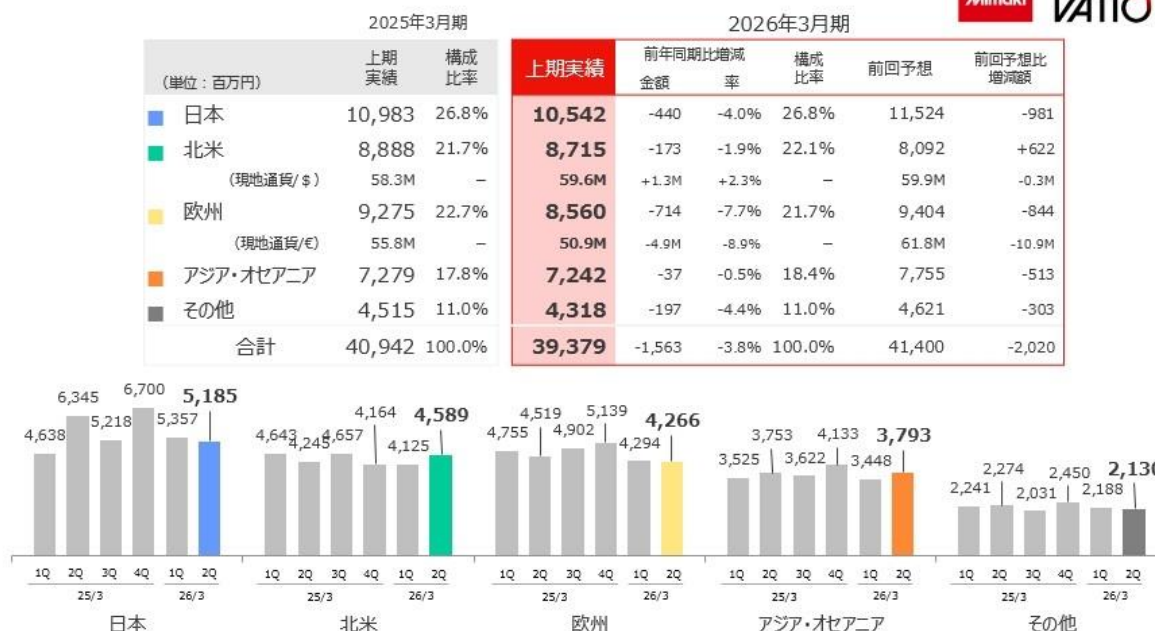
の減でございます。こちら、IP の小型フラットベッドプリンタ、こちらが大きな要因でございます。

北米の売上高は、前年同期比 8.1%増の 45 億 8,900 万円となりました。北米は SG、IP、TA とも順調に 2 クォーターは伸ばすことができたというところでございます。TA については特に高速の昇華転写モデル、SG については DTF モデルと、順調に伸ばして、インクも大幅増でございます。

欧州の売上高は、前年同期比 5.6%減の 42 億 6,600 万円となりました。やはり欧州、TA が DTF プリンタの減少によって減少。また、IP も減少でございますが、SG は順調に伸びておりますが、TA、IP の落ち込み分をカバーできなかったというところでございます。

アジア・オセアニアの売上高は、前年同期比 1.1%増の 37 億 9,300 万円となりました。アジア・オセアニアも欧州と同様、IP、TA のところでは落としておりますが、SG でそこをカバーしたというところでございます。

エリア別売上高（2026年3月期 上期実績）



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード：6638)

10

10 ページ、エリア別の売上高、6 カ月の状況でございます。こちらも前のスライドと同様の傾向でございますので、詳細は割愛させていただきます。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



要約貸借対照表（2025年9月30日現在）



(単位：百万円)		2025年 3月31日	2025年 9月30日	増減額	増減率
資産の部	現金及び預金	15,448	14,027	-1,421	-9.2%
	受取手形及び売掛金（※1）	14,838	13,373	-1,464	-9.9%
	たな卸資産	24,863	27,461	+2,598	+10.5%
	その他流動資産	2,453	2,351	-101	-4.2%
	流動資産合計	57,603	57,214	-389	-0.7%
	有形固定資産	13,650	14,664	+1,013	+7.4%
	無形固定資産	847	812	-35	-4.2%
負債・純資産の部	投資その他の資産	4,072	4,025	-47	-1.2%
	固定資産合計	18,570	19,501	+931	+5.0%
	合計	76,174	76,716	+541	+0.7%
	支払手形及び買掛金（※1）	8,847	8,499	-347	-3.9%
	短期借入金（※2）	16,557	17,080	+522	+3.2%
	その他流動負債	11,886	10,431	-1,454	-12.2%
	流動負債合計	37,291	36,011	-1,279	-3.4%
	長期借入金	3,972	3,209	-762	-19.2%
	その他固定負債	2,536	2,565	+28	+1.1%
	固定負債合計	6,508	5,774	-734	-11.3%
	負債合計	43,800	41,785	-2,014	-4.6%
	純資産合計	32,373	34,930	+2,556	+7.9%
	合 計	76,174	76,716	+541	+0.7%

❖ 資産の部 541

- ・ 流動資産 (-389)
→現金及び預金の減少等
- ・ 有形固定資産 (+1,013)
- ・ 投資その他の資産 (-47)

❖ 負債の部 -2,014

- ・ 流動負債 (-1,279)
→電子記録債権の減少等
- ・ 固定負債 (-734)
→長期借入金の減少等

❖ 純資産の部 +2,556
→利益剰余金の増加等

（※1）電子記録債権、電子記録債務を含む （※2）1年内返済予定の長期借入金を含む

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング（証券コード：6638）

11

11 ページ、中間・期末の要約貸借対照表、バランスシートでございます。前期末に比べまして、総資産は5億4,000万円ほどの増加でございます。内訳を見てみますと、棚卸資産のところが増加をしております。

こちらは主に新製品の売り玉を確保するということで、在庫を増やしたところでございます。もちろん売上が計画から落ちているという影響も若干ございますけれども、おおむねコントロール下にあるという認識でございます。また、利益率10%をキープしまして、順調に純資産のところ、利益剰余金を積み増しております。自己資本比率は45.3%と、前期末から3.0ポイントの改善でございます。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com





※ 利払前、税払前、償却前の営業利益

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング（証券コード：6638）

12

12 ページ、キャッシュフローでございます。中間・期末の現金および現金同等物の残高は、前期末から 17 億 1,400 万円の減少でございます。

営業キャッシュフローにつきましては 17 億 2,000 万円のキャッシュインで、利益順調に出ておりまして、EBITDA で約 46 億円獲得しまして、税金利払い、それから増加の運転資金に使用したことによるものでございます。

投資キャッシュフローは 20 億 3,200 万円のキャッシュアウトでございます。主に固定資産の取得に使用したことによるものでございます。

財務キャッシュフローは 15 億 6,900 万円のキャッシュアウトでございます。配当金の支払い、それから借入金の返済に充当したことによるものでございます。

以上が、26 年 3 月期、2 クォーター、それから上期の実績についてのご説明でございました。

サポート

日本 050-5212-7790
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

連結業績予想ハイライト（2026年3月期）



2025年3月期			2026年3月期								
(単位：百万円)	通期実績	売上高比率	下期予想 (修正・審計)	売上高比率	前年同期比増減額	通期予想 (修正)	売上高比率	前期比増減			前回予想比増減額
								金額	率	率(除為替)	
売上高	83,963	—	43,120	—	+99	82,500	—	-1,463	-1.7%	+1.3%	-6,100
営業利益	9,111	10.9%	4,509	10.5%	+96	8,500	10.3%	-611	-6.7%	+8.7%	-700
経常利益	8,441	10.1%	4,035	9.4%	-84	7,800	9.5%	-641	-7.6%	—	-600
当期純利益*	6,156	7.3%	2,746	6.4%	-158	5,500	6.7%	-656	-10.7%	—	-400
為替レート (期中平均)	米ドル	152.57円	—	—	-8.53円	145.02円	—	-7.55円	-4.9%	—	+10.02円
	ユーロ	163.74円	—	—	-9.55円	160.03円	—	-3.71円	-2.3%	—	+8.03円

*親会社株主に帰属する当期純利益

連結業績予想の前提

- ・通期業績予想は、TAのDTFモデルの競争激化や下期に新製品の上市が、一部の製品開発の検証等に時間を要し、来期への期ずれ発生による、新製品開発の見直し等を踏まえた製品市場別及びエリア別の売上の見直しを実施。期初計画（5/13）より下方修正
- ・売上高…グローバルでの市場環境は前期より大きな変化はなく堅調に推移すると見通すも、米国の関税政策の影響による各国の関税政策や金融政策の動向など不透明な要素は依然として多い。既存製品の営業戦略の転換など、販売の着実な拡大を目指す
- ・営業利益…研究開発費や人件費等の将来の成長への積極的な投資は継続。その他の販管費は、売上高に応じた執行に努めつつ効果的な充当を推進売上原価の前提は期初計画から変更なし
- ・3Q以降の為替レートの前提：USD:144円/EUR:152円（期初計画から変更）

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング（証券コード：6638）

14

続きまして、26年3月期、通期の業績予想につきましてご説明申し上げます。なお、今回11月の11日にこちら業績予想の見直しをさせていただいております。

まず売上高でございますが、前年同期比1.7%減の825億円、営業利益が6.7%減の85億円、経常利益が7.6%減の78億円、当期純利益が10.7%減の55億円の予想でございます。

売上高に関しましては、足元の状況、前半のパートでご説明しましたとおり、DTFプリンタ、競争激化してちょっと落ちているというところ。また、IPの小型フラットベッドプリンタが苦戦しているという現状に加えまして、下期にリリースを予定しておりました新製品の一部が来期に期ずれする見通しでございます。一方で、私どもの産業用インクジェットプリンタの需要ですとか、デジタル化への流れ、こういった市場の環境は引き続き大きな変化はなく、むしろポジティブ、追い風ではないかという認識でございます。こういった状況を踏まえまして、売上高は期初の予想から61億円下回りとなる見通しでございます。

営業利益に関しましては、基本的には売上が減少したことによりまして、期初から7億円の下の予想でございます。下期につきましても引き続き、Mimaki Innovation 30の方針に沿いまして、将来の成長投資、こちらはしっかりと行っていく方針でございます。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



営業利益増減要因 (25/3期 実績 vs 26/3期 予想)



■ 売上・原価・営業利益への為替影響
 売上高 -2,537 - 売上原価 -541 - 販管費 -590 = 営業利益 -1,406

為替感応度 (1円/年)	
売上高	営業利益
USD 166	84
EUR 124	81

【通貨別影響額】		
USD	152.57円 → 145.02円	-641
EUR	163.74円 → 160.03円	-300
CNY	21.10円 → 20.65円	+38
TRY	4.48円 → 3.82円	-127
BRL	27.26円 → 25.40円	-118
その他 (AUD, INR等)		-257
		合計 -1,406

【売上原価率増減要因】
 インクと本体モデルの切り替え等によるミックスの変化など、引き続き原価低減活動に取り組むことで原価改善を見込む



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード: 6638)

15

続いて 15 ページ、見直し後の営業利益 85 億円、前期比で 6 億 1,100 万円の減益となっておりますが、こちらの増減要因でございます。

為替の影響を除きますと、若干の増収を予定しておりますので、増収効果によりプラスの 5 億円。一方で、前のページでご説明し忘れましたが、下期の為替レート、ドルが 144 円、ユーロが 152 円でございます。こちらの円高に設定しているところもありまして、為替のマイナス影響 14 億円を見ております。一方で、成長投資を中心に販管費の増加を見込んでおりますが、上期と同様、プロダクトミックスの改善によりまして、原価率の改善で費用増を賄うという予想でございます。

サポート

日本 050-5212-7790
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



市場別売上高予想 (2026年3月期)



2025年3月期			2026年3月期							
(単位: 百万円)	通期実績	構成比率	下期予想 (修正・差引)	前年同期比 増減額	通期予想 (修正)	金額	前期比増減 率	率(除為替)	構成比率	前回予想比 増減額
■ S G市場向け	33,994	40.5%	16,669	-1,046	33,191	-802	-2.4%	+3.4%	40.2%	-1,238
■ I P市場向け	22,084	26.3%	12,150	+666	21,927	-156	-0.7%	-0.4%	26.6%	-2,362
■ T A市場向け	10,324	12.3%	5,797	+802	10,345	+21	+0.2%	+3.9%	12.5%	-1,684
■ F A事業	5,053	6.0%	2,625	-284	4,558	-495	-9.8%	-17.1%	5.5%	-1,113
■ その他	12,506	14.9%	5,877	-38	12,475	-31	-0.2%	-	15.1%	+300
合 計	83,963	100.0%	43,120	+99	82,500	-1,463	-1.7%	+1.3%	100.0%	-6,100



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード: 6638)

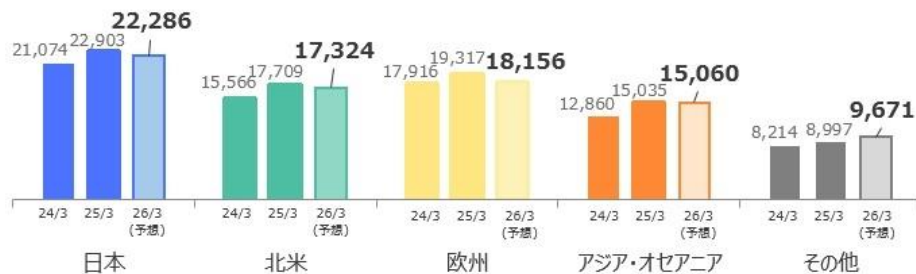
16

続きまして 16 ページ、市場別の売上高の予想でございます。為替の影響を除きますと、SG、それから TA のところで増収を見込んでおります。一方、期初の予測比では、足元の上期の状況等を考慮いたしまして、SG、IP、TA それぞれ下方の修正を入れているというところでございます。

エリア別売上高予想 (2026年3月期)



2025年3月期			2026年3月期						
(単位: 百万円)	通期実績	構成比率	下期予想 (修正・差引)	前年同期比 増減額	通期予想 (修正)	金額	前期比増減 率	構成比率	前回予想比 増減額
日本	22,903	27.3%	11,743	-175	22,286	-616	-2.7%	27.0%	-3,195
北米	17,709	21.1%	8,609	-212	17,324	-385	-2.2%	21.0%	+174
(現地通貨/ \$)	116.3M	-	59.7M	+1.7M	119.4M	+3.0M	+2.7%	-	-7.6M
欧州	19,317	23.0%	9,595	-445	18,156	-1,160	-6.0%	22.0%	-1,927
(現地通貨/ €)	118.0M	-	63.1M	+0.9M	114.0M	-4.0M	-3.4%	-	-18.0M
アジア・オセアニア	15,035	17.9%	7,818	+62	15,060	+25	+0.2%	18.3%	-1,151
その他	8,997	10.7%	5,352	+870	9,671	+673	+7.5%	11.7%	±0
合 計	83,963	100.0%	43,120	+99	82,500	-1,463	-1.7%	100.0%	-6,100



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード: 6638)

17

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



17 ページ、エリア別の売上高でございます。同様に為替の影響を除きますと、北米、それからアジア・オセアニアのところで増収を見込んでおります。一方、期初からの予測比では、北米を除いて下方修正というところでございます。

設備投資、減価償却、開発投資予想（2026年3月期）



（単位：百万円）



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマエンジニアリング（証券コード：6638）

※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

18

18 ページ、設備投資、それから開発投資の予想でございます。まず左側、設備投資でございますが、主に新製品の開発の計画、スケジュール変更によりまして、設備投資計画を見直した結果、期初の予想からは6億円強の減少、通期26億7,000万円の予想でございます。おおむね前期並みというところでございます。

一方右側、開発投資でございますが、期初の予想からは若干数字減っておりますが、基本的には変わらず、68億7,000万円というところで、Mimaki Innovation 30の方針に沿いまして、既存領域の新製品開発、それからイノベーション投資を着実に実施していく予定でございます。

サポート

日本 050-5212-7790
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



株主還元



株主還元の方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

- 2026年3月期 中間：25.0円、期末（予想）：25.0円
今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、**年50.0円**の予想



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものです
※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています（分割前の配当金は遡及修正して表示）

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング（証券コード：6638）

19

最後、19 ページ、株主様還元でございます。基本方針、それから配当の予想につきましては、期初から変更はございません。中間が25円、期末予想が25円、年間で50円の予想でございます。

以上が、上期の実績ならびに通期の業績予想についてのご説明でございました。ご清聴、誠にありがとうございました。

市場別の取り組み：SG市場向け

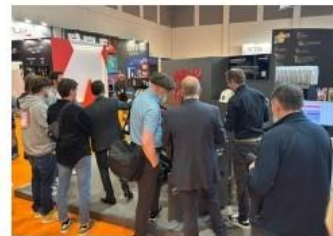


売上高推移 & トピック



FESPA 2025

スクリーン印刷、デジタル印刷、テキスタイル印刷、サイン、ビジュアル・コミュニケーションに関するヨーロッパ最大級の展示会。今年はドイツのベルリンで開催されました。



2025/05/06-09 @Berlin, Germany / 来場者数：約14,000人

Printing United

米国のオーランドで開催される、北米最大級の印刷・アパレル装飾に関する総合展示会。最新の印刷技術、機器、アプリケーション、トレンドが紹介され、業界のプロフェッショナルが集まりました。



2025/10/22-24 @Orland, FL, US / 来場者数：約30,000人

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング（証券コード：6638）

21

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



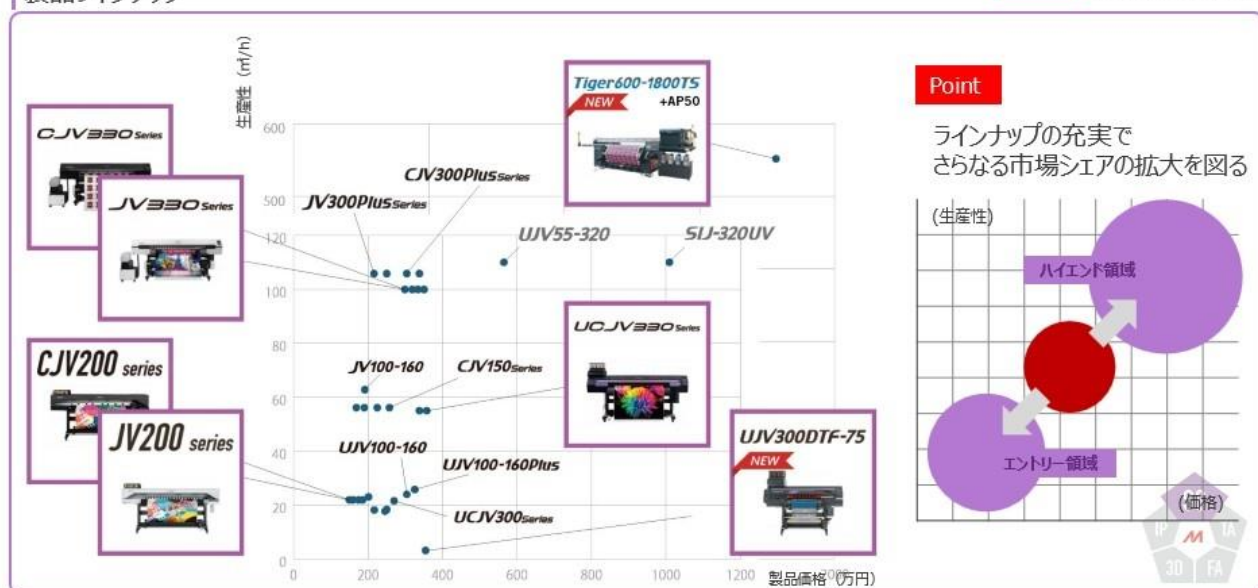
池田：ミマキエンジニアリングの代表取締役社長 池田和明でございます。私より事業の今までの取り組みの状況、それからこの先の状況について、ご説明申し上げます。

まず1つ目がSG市場でございます。これまで看板市場、ほぼ市場はデジタル化、飽和しているのではないかとわれてはありましたけれども、今までのところ順調に伸びてきておりまして、この先もこの環境はあまり変わらなくて、まだまだ伸ばしていけるのではないかなという状況でございます。

ちょうどここに展示会、今期も FESPA という展示会、これドイツのベルリンでございました。そして先月ですけれども、10月に Printing United という展示会、これがUSのオーランドでございましたけれども、かなり好評でございまして、全体的に私たちのサイングラフィックスの取り組み、ここについてはまだまだしっかり注目をいただけているのかなと思っております。

市場別の取り組み：SG市場向け

製品ラインナップ



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード：6638)

22

全体的な私どもの戦略、ここはもうこの5～6年変わらずにずっとやってきてございます。ラインナップを広げていくというところでございまして、ちょうどこの右側にございますこの円グラフ、私たちは今までこの赤い丸のあたり、こういったところの製品をたくさん投入してきたのですが、まだまだ取りしろがたくさんあるというのが、よりエントリーのところ。これ、どちらかというとDIYに近いようなところ、アメリカなんかは特にDIYに近いようなプリンタ、これがよく売れるというところと、より高速なところ、ハイエンドのプリンタです。

サポート

日本

050-5212-7790

フリーダイヤル

0120-966-744

メールアドレス support@scriptsasia.com



私たちの製品、このあたりが、1時間当たり大体20平米から100平米の間のスピードでプリントできるプリンタがほとんどですけれども、この先、ハイエンドのところってまだそんなにプレーヤーがいなくて、大手でいくと2社ほどございます。大体1時間当たり200平米から400平米ぐらいのプリントする部分、こういったところは十分取りしろが残っているだろうということで、製品ラインナップ、ここを拡張して、しっかり伸ばしていくという戦略は変わらずやっていくと、まだまだ伸びていくのかなと思っています。

市場別の取り組み：IP市場向け



売上高推移 & トピック



JFX200-1213 EX

JFX200-1213 (UVプリンタ)
ミドルサイズのフラットベッドUVインクジェットプリンタ
高生産性で「美しさと速さ」を実現
工業用・オーダーグッズのほか、サインボードなどの製作も可能



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード：6638)

23

続いて、IP 市場向けでございます。IP 市場向け、今期残念ながら少し落としているのですけれども、ここも全体的な取り組み、ここはあまり間違っていない、この先も伸びていけるのではないかなと思っています。

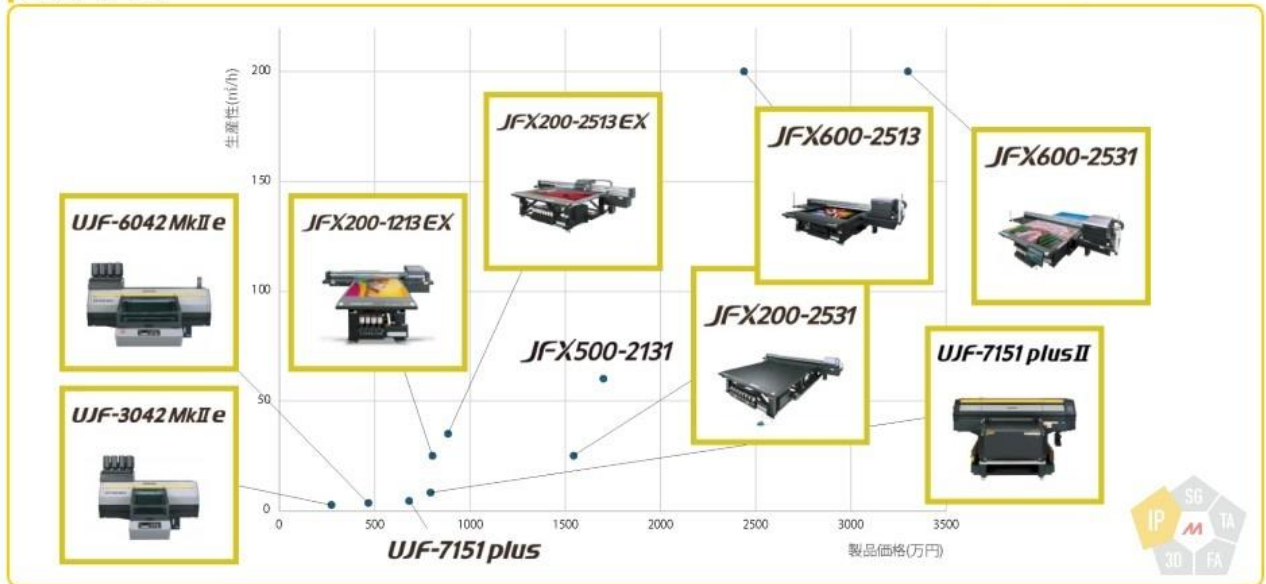
製品ロードマップの関係上、T シャツプリンタ (TxF150-75 / TxF300-75)、ここにチャンスがあったので、先行してT シャツプリンタを、去年、おとしですかね、リリースしまして。この市場向け製品のリリースを少し後回しにしたら、ちょうど今期、端境期が来てしまって、少し販売が落ちたところがございますけれども、しっかり後継機種を出して、ここを伸ばしていくというところかなと思っています。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



製品ラインナップ



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード：6638)

24

これもラインナップ戦略でしっかり面を埋めていくと、点で面にしていくというところでございます。

一番安いものが UJF-3042、これが A3 サイズのプリンタでございます。その上、A2 サイズが UJF-6042 でございまして、この辺が主に日本ではアクリルキーホルダーとか、スマートフォンケースなんかでプリントを使っていたいておりますけれども。海外では、おもちゃのバービー人形やミニカーなどのプリントに使っていただいております。ミニカーのプリントをしていただいておりますお客様は、プリンタを 700 台ぐらい並べてプリントしていただいております。

その他、UJF-7151、これはもっと高精細、精度が非常に高くプリントができるプリンタでございます。この辺は時計の文字盤のプリント等でお使いいただいたりしております。その他、この JFX600 が、1 時間当たり 200 平米ぐらいプリントができるものですが、精度の高さや速さやリーズナブルなものなど、ある程度のラインナップでこの市場をしっかり埋めていくという戦略を続けていくと、まだまだ伸びるかなと思ってございます。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

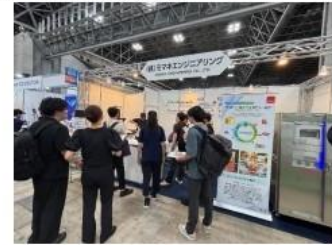
売上高推移 & トピック

(単位：百万円)



「ネオクロマトプロセス」製品を初公開

『ササキエコノミー展 2025』にて脱色技術「ネオクロマトプロセス」を用いた自動脱色機を初出展&実演



2025/09/09-11 @ 幕張メッセ, 日本 / 来場者数：約40,000人



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード：6638)

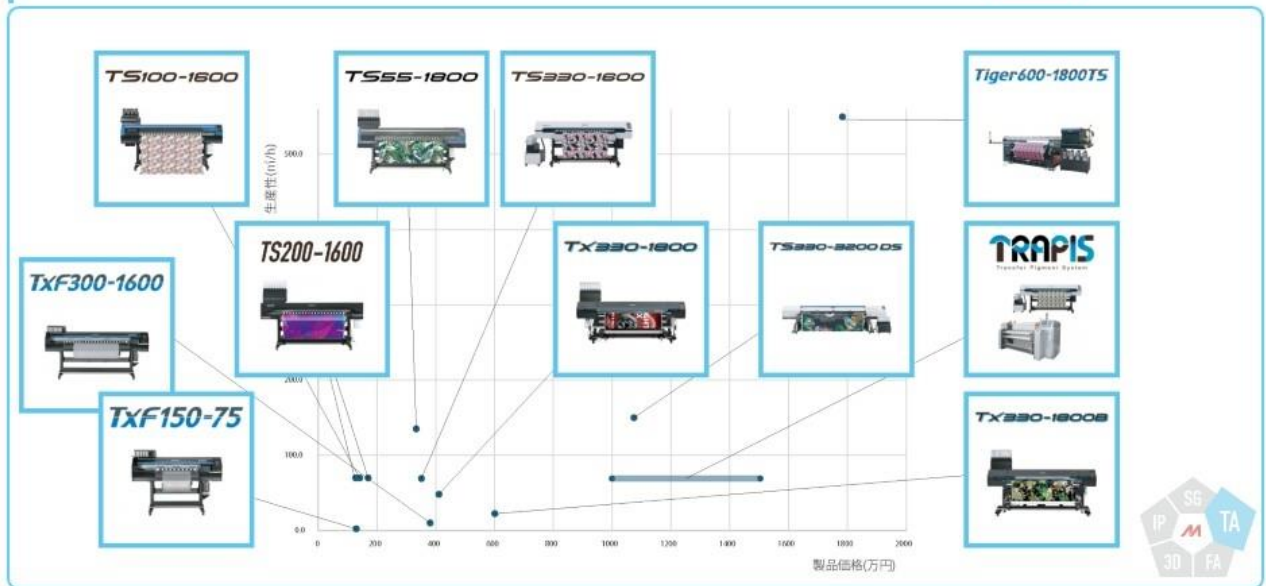
25

次がTA、テキスタイル・アパレルでございます。これ、昨年までの数字でございますけれども、ちょうど売上100億円ぐらいまでのところまで急激にTシャツプリンタが売れて伸びました。この春、先ほどもお話ししましたとおり、競合さんからTシャツプリンタの同じような製品が出て、少し販売が止まっております。どうも競合さんの製品がたくさん売れているということではなさそうですが、市場でちょうど待ちの状態になってしまったことで、私たちの上期にインパクトが結構あったのかなと思ってございます。

ここはまだまだデジタル化していく伸びしろは非常に高く、その他、デジタルプリンティング以外にも、ネオクロマトプロセス、これは一度プリントしたポリエステルをもう一度脱色して色を抜いて、再度プリントできるという新しい、アップサイクルで利用いただける製品等の開発に取り組んでございます。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード：6638)

26

こちらもラインナップでございます。TxFはTシャツプリンタでございます。TSはサブリメーション、昇華転写のポリエステルプリントです。ポリエステル用のプリンタはだいぶデジタル化が進んできていて、デジタル化率10%を超えてきてるのではないかなと思っております。その他の素材、コットンであったり、ナイロンであったりは非常に染色が難しく、簡単にできる染色のTRAPISというシステムは、これも転写方式ですが水を一切使わずに、紙にプリントしたものを圧力と熱でインクだけ移していくというテクノロジーで、簡単に染色できるものです。ここも同じように高速側に向かっていくと。

捺染工場さんなんかに入れられるような製品を作っていくことで、テキスタイルのラインナップにも取り組んでいく、全体的な流れはそんなに間違っていないのかなと思っておりますので、しっかり開発していまいります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

代表的な産業用インクの種類と特長



溶剤：PVCアタック：前処理不要
ソルベントインク

ソルベント（有機溶剤）がPVC※の表面を侵食し揮発、顔料が食い込むことで高い屋外耐光性/耐候性/耐擦過性を実現するインク

- 環境配慮型のインクで認証取得

対象素材：PVC※など

UV硬化インク

UV光（紫外線）を照射させることにより、硬化・定着するインク

- 乾燥時間が不要！
- 様々な素材へ印刷！

対象素材：樹脂、ガラス、金属など

高温でガス化、ポリエステルに着色
水性昇華インク

ポリエステル素材へのプリントを飛躍的に美しくする高濃度インク

- 紙転写 / ダイレクト印刷に対応
- 蛍光色にも対応し発色が鮮やか

対象素材：ポリエステル

※PVC=ポリ塩化ビニール

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマエンジニアリング（証券コード：6638）

27

その他、私たちはインクの開発にも力を入れてございます。産業用のインクジェットプリンタには、紙とは違いまして、それぞれの対象物によっていろいろなインクが必要でございまして。

一つはソルベントインク。これがサイングラフィックス用途で主に使われるのですが、ソルベントの溶剤成分が、サインですとほとんどのメディアシートが大体 PVC（ポリ塩化ビニール）でできています。塩ビでできているのですけれども、溶剤成分がこの塩ビを侵してくれて、前処理がなくてもしっかりと食い付いてくれてそのまま使えるというインクであったりとか。

その他、おもちゃや時計で使われるインクは、紫外線で固まる UV 硬化インクです。最近歯医者で仮歯を入れるときに、粘土のようなものを入れて光を当てて固めたりしますけれども、同じような原理でございまして。光を当てるまではインクでいて、光を当てるとプラスチック、ポリマーがモノマーに変わるというものでございまして。さまざまな素材に、乾燥時間がほとんど必要なく印刷ができるということで、サイングラフィックス、それから IP、それから 3D プリンティング、このような用途で使われてございまして。これも用途がいろいろございまして、アクリルキーホルダーなんかは引っ掻いても取れないように、鉛筆硬度の硬さが必要だったり、一方でサイン用には曲げても大丈夫なように、ある程度インクが伸縮する必要があるだったりします。1 種類の UV インクがあれば全部できるものではなくて、用途によってインクを開発し、それぞれの市場にミートさせていく。ここが産業用のプリントの難しいところであり、まだまだ取りしろがたくさんあるところなのかなと思っております。

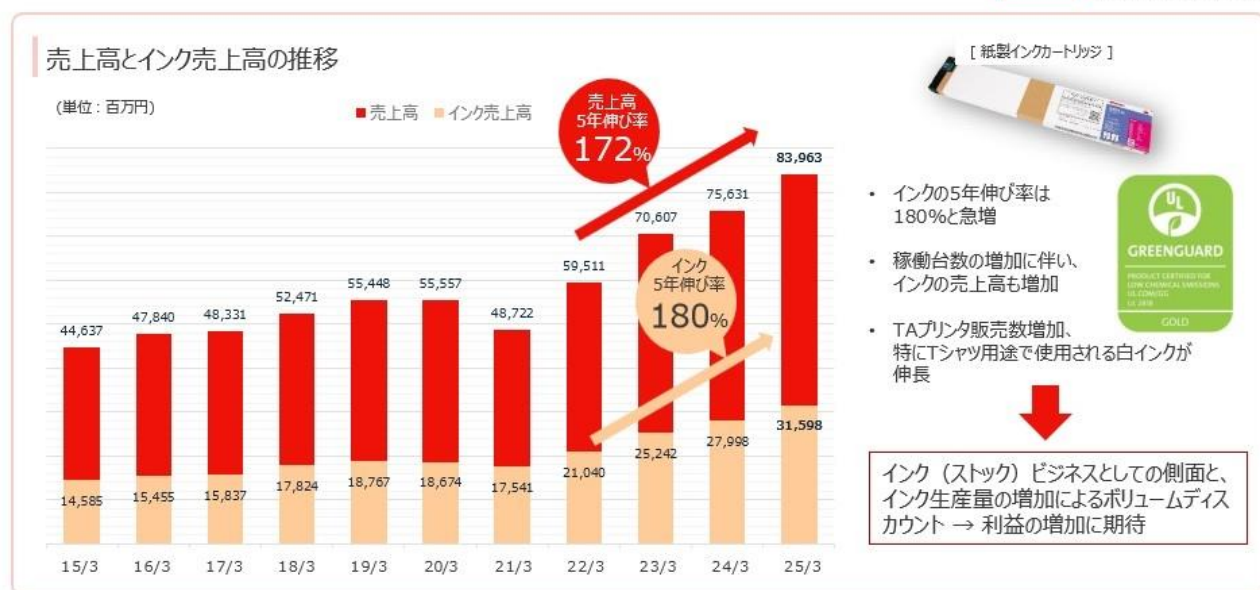
サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



水性の昇華転写は、ポリエステルにプリントできるものですが、これも紙にこの昇華転写インクでプリントしておきまして、この紙とポリエステルの一緒に熱プレス機に入れていきますと、紙にプリントした昇華インクがガス化して、ポリエステルの多孔質に入って染色されるというテクノロジーでございます。水を一切使わずに、紙にプリントしたものをただ転写していけるので、ユニフォームや最近はファストファッションでポリエステルの商品が非常に多くなりましたけども、そのような用途でお使いいただいています。このようなインクを私たちは開発しておりまして、まだまだいろいろ新しいインクが世の中にたくさんありますので、そんなニーズに合わせたインクを開発していきたいと思っています。

インク売上高推移と成長ポテンシャル



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング (証券コード：6638)

28

これが私たちの本体の売上とインクの売上推移です。インクの開発に力を入れてきまして、インクの売上だけで300億を超えるところまで来ました。これは私たちにとっては非常に大変でございまして、サプライですので、大体ここまでいくと、本体を入れ替えられない限りは来年も同じだけインク売上があるところとございまして、新しいインクの開発にも力を入れていくところとございます。

これは確かな情報ではないですが、紙のプリンタを除いてデジタルインクとしてこれだけインクの売上があるところは、私たち装置メーカーですが、たぶん5本の指ぐらいには入るようになってきたのかなというところなんです。プリンタの本体を作っていた会社がインクジェット屋に変わっていった、このようなインクの売上比重を伸ばしていくというのが私たちの非常に大事なところでもあります。今後、利益率を上げていくためにも、力を入れていきたいと思っています。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



「プリンタとインク「3M™ MCS™ 保証プログラム」に認定



当社プリンタ330シリーズ（JV330、CJV330）とエコ溶剤インクSS21が、3M™社の「3M™ MCS™ 保証プログラム」に認定されました。このプログラムは、印刷されたグラフィックの性能を幅広く保証するものです。

「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄に新規選定



資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、「投資者にとって投資魅力の高い会社」が採用される「JPX日経中小型株指数」の2025年度構成銘柄として選定されました。

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 株式会社ミマキエンジニアリング（証券コード：6638）

29

その他、この上期のトピックスでございます。サイングラフィックス用途シートの世界でナンバーワンサプライヤーが3Mさんでございます。MCS Warrantyという、ミマキのインクと3Mさんのシートを使ったら5年間保証されますよという保証プログラムを全世界でやってございます。

それからJPXの日経中小型株の指数。ここの構成銘柄に新規に選定されましたというところが、上期のトピックスでございます。

以上が事業の推移と進捗状況でございます。本日はありがとうございました。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

質疑応答

司会 [M]：ありがとうございます。それでは、これより質疑応答の時間といたします。では、まず開始前に頂きましたご質問があります。

質問者 [Q]：上半期の実績を踏まえ、今期の下半期や来期の事業環境についてどのような展望を描かれていらっしゃるでしょうか。

池田 [A]：先ほどご説明申し上げましたとおり、上半期は少し残念な結果でございましたけれども、下半期は同じくミマキエンジニアリングにとっては厳しい状況ではあるかなと思ってます。多少厳しい状況ではあるかなと思ってますが、事業環境としましては大きく変わらないと思ってます。ですので、しっかり後継機種、これを投入していく。

今のところ秋に予定していた製品のリリースが遅れまして、来春の予定をしてございますけれども、来春までのところは、しっかり私たちが持ってる製品をエンドユーザー様に、今までご提案できてなかったエンドユーザー様に提案してまいります。この当たり前のことをしっかり徹底する期間にします。来春に関しては新製品でもう一度売上伸長していく会社戦略にしていきたいと思います。

質問者 [Q]：ご丁寧なご説明、ありがとうございます。御社の決算説明会に会場に参加するのはコロナ前以来だなと思って聞いていまして、いつもオンラインで拝聴しておりました。

去年や半年前と比べて、特に海外も含めて、景況感的な変化を今どうご実感されてるのでしょうか。この来年以降のご想定は、期初と比べてどういうシナリオの変化が起きてるかがあれば教えていただけないでしょうか。よろしくお願いいたします。

池田 [A]：ご質問ありがとうございます。景況感、特に私たちの業界という点の景況感でいきますと、今年はトランプ関税の影響がどの程度あったのか分かりませんが、少し私たち以外の競合さんの販売台数を見ていても、ちょっとスローな状態なのかなと感じてございます。少し投資が控えられているところがあるのかなとは、投資というか、広告に対しての投資が少し控えられているのかなとは思ってございます。

それでも全体的に看板の需要が落ちているかというと、日本でも、電通さんが発表してる看板、屋外広告看板、ここも減ってございませし、海外でも空き看板が大きく目立つところがないと思っ

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



ておりますので、この先そんなに大きく市場が下がっていってしまうと、シュリンクしていってしまうという状況にはないのかなと考えてございます。

質問者 [Q]：ちょっと鈍化しているように足元見えてしまいましたが、どのタイミングでまた回復の軌道に入るといふ、時期的な部分はどのような感じで見ていらっしゃるでしょうか。

池田 [A]：全世界で見ると、11月、12月、ここが一つ、一番物が動くシーズンでございまして、このシーズンをしっかり注視して、物が動き始めると1月から私たちの製品を買っていただいといるところになるのかなと思っております。

質問者 [Q]：原価率改善として、ミックスの改善とありますが、具体的に何が増えて何が減ったことがミックス改善につながったのでしょうか。

池田 [A]：ご質問ありがとうございます。私たちの新製品、今のJV200、CJV200とここ2年、3年の間に発表している製品はだいぶ原価率やコストもミートできておりまして、古い製品が新製品に変わっていくことによって、利益率や原価率もだいぶ良くなっていくと思っております。インクについても同じでございまして、古いインクが新しいインクに変わっていくと原価率が良くなっていくので、だいぶ新しい製品に入れ替わってきているというところが、原価率が良くなってきてる一つの要因だと分析しております。

質問者 [Q]：DTFの不調に関して、今後どのような打ち手を考えていらっしゃるのでしょうか。

池田 [A]：これ、非常に難しく、他のサイングラフィックスのプリンタで、競合さんが少し製品出したからといってこんなに売上がぽんと落ちるようなことはなかったのですが、Tシャツプリンタだけは、競合さんが製品出したらいきなり販売が止まってしまうここ半年ぐらい驚いているという状況でございまして。

ただし、まだまだTシャツのマーケットも非常に大きいですし、特にTシャツはインクの使用比率も非常に高いので、ここをしっかりと取り組まないといけないと思っています。

新製品については、現在はDTFというTシャツプリンタでフィルムでプリントした後に、シェイカー機で粉をかけて、この粉がのり代わりとなり、粉をベーキングマシーンで焼くとインクとパウダーがくっつくテクノロジーですが、この粉のプロセスもまだまだアナログで、改良の余地が非常にあります。それから、やはりTシャツも更に無人化でプリントできるところに取り組まなければいけないと思っています。ここもラインナップといいますか、次の手をしっかり打って、市場投入していくことが大事かなと思っております。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



質問者 [Q]：インクの売上が大きく増加した 2022 年以降、インク売上の原価率はどの程度下がったのでしょうか。

池田 [A]：インク個別の原価率の変化は分かっていますが、インクそのものの原価率、全部でどの程度下がったかというところは、競合さんもございますのですみません。

質問者 [Q]：この秋投入予定の新機種が次の春の投入になった主因は何でしょうか。

池田 [A]：今まで私たちは順調に来ていて、この先のマーケットシェアを 2%、3% プラスできるような製品ではなく、もっとたくさんシェアが取れるような技術開発で新しい製品に取り組もうと、新しい技術に取り組んでまいりましたが、その技術のハードルが高くて。実際のところは、半年リリースは延ばしましたが、開発自体は 3 カ月ぐらい伸びたというところでございます。私たちの業界は、春と秋に展示会がありますので、秋の展示会逃してしまうと、発表のタイミングが半年ずれてしまうというところですが、技術的なハードルが高いものにチャレンジしていたというところが、日程がたまたまミートできなかったという状況でございます。

質問者 [Q]：北米の通期予想について、ドルベースで増収見込みとなっています。トランプ関税の対応として、関税分の転嫁を実施されているものと思いますが、販売への影響や競合状況はいかがでしょうか。

池田 [A]：北米に関しては、上期は結構競合さんも含めていろいろと難しい状況がございまして。ある競合さんは関税が上がる前に大量に北米にマシンを輸入してと。タイの工場から、輸出する取り組みをされた会社さんもいらっしゃいました。私たちは平準化していましたので、全般的に多くの在庫がなくそのような対応をしませんでした。前倒しで輸出したところはそんなに値上げをしませんでした。私たちはある程度のところで値上げしないといけないねということで、値上げして取り組んでまいりました。

この下期に関しては他のメーカーさんも含めてほとんど変わらない状態になると思っておりますので、価格に対してセンシティブにやるということもなく、みんな同じ条件で戦えるというような状況なのかなと思っています。

質問者 [Q]：原価低減とミックス改善は別のものだと思います。新製品で原価低減については理解しましたが、ミックス改善についてはいかがでしょうか。

清水 [A]：ご質問ありがとうございます。先ほど池田のほうからご説明申し上げましたとおり、新製品のところで、原価率が低いものが新製品で切り替わります。従来販売していた旧製品の原価率

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



が高いものが抜けて、全体の構成として原価率の低い製品の割合が増え、機種ミックスが改善したという意味でご説明申し上げました。

司会 [M]：ありがとうございました。それでは、今一度会場の方からご質問をお受けできればと思いますが、ご質問のある方、いらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。ではいったん質問を確認いたしますので、少々お待ちください。

それでは、ご質問も一巡したようですので、これをもちまして質疑応答の時間を終了といたします。最後に、社長の池田よりごあいさつがございます。よろしくお願いいたします。

池田 [M]：今日は、お忙しい中ご参集いただきまして、ありがとうございます。

まだまだ、私たち、IR の場でも印刷機メーカーはこれから斜陽産業だろうとどこへ行っても言われておりますので、なんとか産業用プリンタはまだまだ面白いんだというところを広げてまいりたいと思って頑張ってみますので、今後ともよろしくお願いいたします。今日はありがとうございました。

司会 [M]：ありがとうございました。それではこれをもちまして、本日の説明会を終了といたします。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com